

地域に暮らす全ての子どもと保護者の受け皿

（個人的な）穂子ども会の目標です

自己紹介

- 臨床検査技師
- 情報処理安全確保支援士
(登録番号: 第021355号)
- 子ども達に関わる事
蓮昌寺保育園保護者会
穂子ども会
宇野小学校 P T A
- 最近増えた事
穂東町町内会 (2022. 4月~)
- 3児の父
長男: 小6
次男: 小4
三男: ぶどう組



穂子ども会の紹介（詳しい内容はWEBサイトをご覧ください）

- 俗に言う昔ながらの子ども会
- 穂、穂東町の小学生を中心（誰でも参加可）
- 体験活動に注力しています。
- 定例活動
 - 年4回のお楽しみ会
 - 廃品（資源ゴミ）回収
- 入退会自由（小学生入会率は約25%）
 - 2022年5月時点
人数：小学生36人、幼児・園児17人
 - **2017年（長男1年生）**
人数：小学生14人、幼児・園児6人
- 町内会とは独立（資金面も）



穂子ども会 **2021** 活動記録



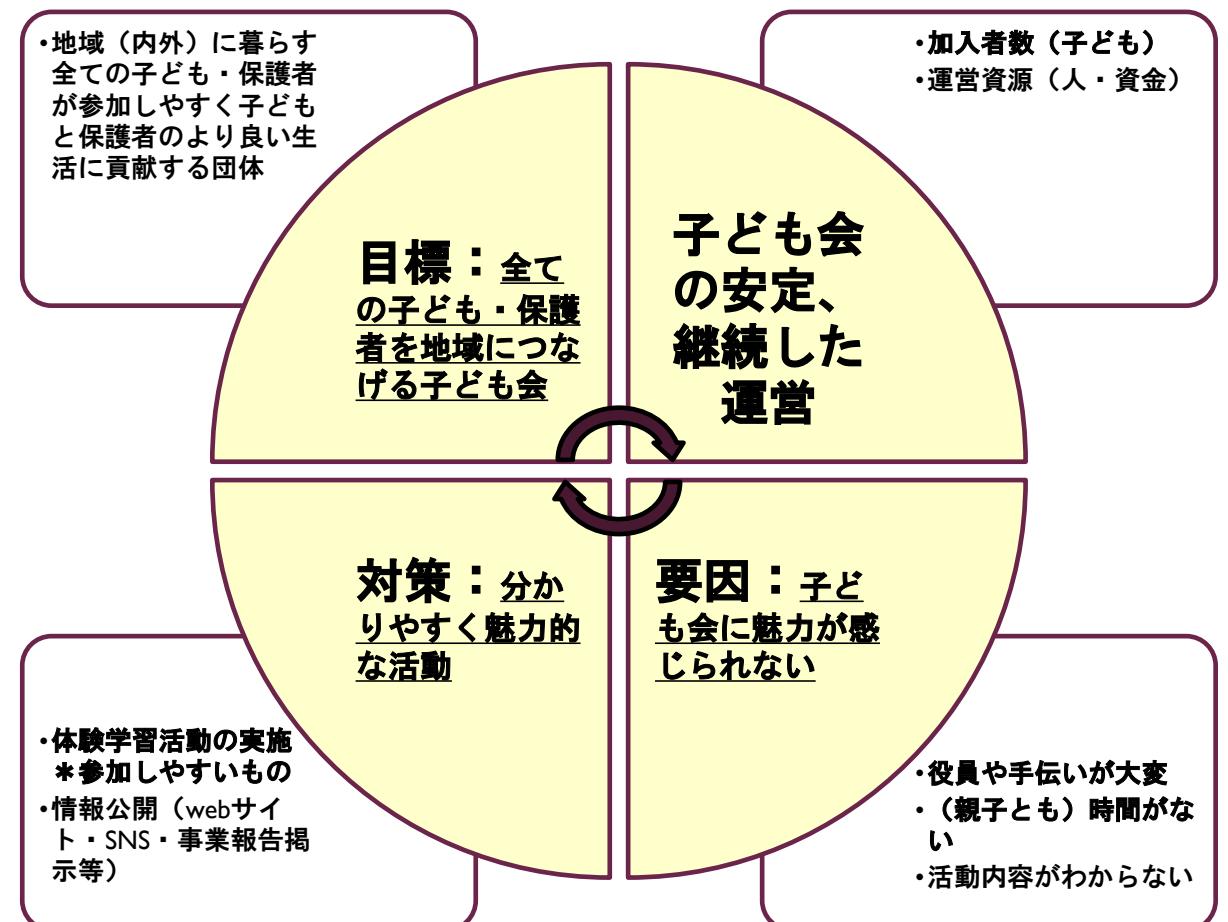
(個人的な) 子ども会の理想

地域団体として

- 様々な環境の子ども・保護者が地域とのつながりを作りやすい組織。
- 年齢差や障害の有無に関わらず、小さい頃からみんなが一緒に過ごす環境。
→ 自然な配慮や多様な価値観の受け入れ。

教育・学習面

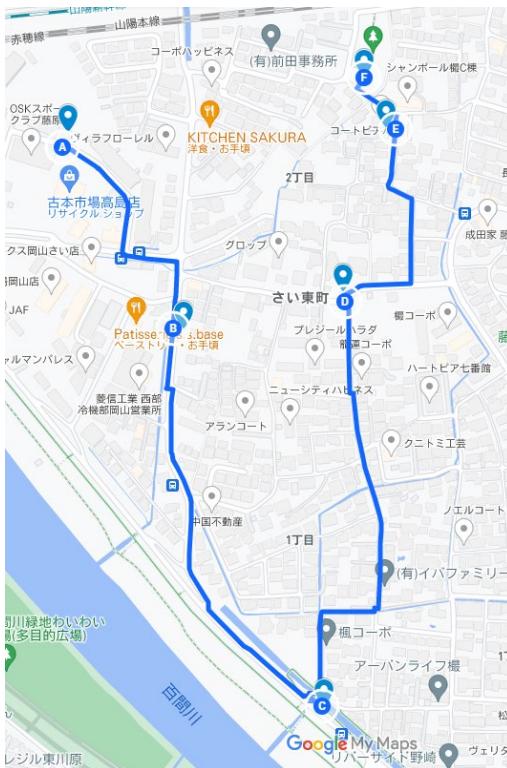
- 長期的な視点で知識や体験の引き出しを増やすために、子どもや保護者が積極的に選択しない活動を行う団体。



事例報告

さい秋祭り&ハロウィンスタンプラリー

ハロウィンスタンプラリーの概要



- 2020年度コロナで地域のお祭りやイベントが全て中止になったため、子どもと保護者が喜ぶ企画として初めて実施
- 稚、稚東町町内をぐるっと一周（約2km）
- 小学生たちの通学路
- 途中のポイントに地神様、お地蔵様、お薬師様を入れてついでにお参り
- 時期的に秋祭りに近く、だんじり引いて町内一周の代わりとして町内会に協働の提案

開催中の様子：2020年度

- 参加人数：160人
 - 子ども：89人
 - 運営：31人
- コロナ初年度でお祭りや神事が全て中止になったため、合わせて実施。
- 何分初めてで勝手もわからずボランティアの人数も余裕を持って開催。



開催中の様子：2021年度

- 参加人数：257人 + α
 - 子ども：174人 ↑↑
 - 運営：15人
- 予想以上の参加人数！
- 2021年度は、お祭り等は町内会で実施していたので純粋にスタンプラリーだけ。
- 2回目で慣れてきたため、スタッフの人数は少なめ。
(前年よりコロナが増えたのも...)



所感・感想

- 参加した子ども達みんなが楽しそうで良かった！！
- 手伝って下さった町内の皆さんからも好評
 - 普段見ない子ども達と直接顔を合わす機会ができる
 - 座ったまま・短時間でいいので体力的な負担も少なくて良かった
- 運営も大きなトラブルは無かった
 - 別の町内からの参加者が～とかは出てきた（町）
- せっかく仮装してるので短い時間で終わるのは残念

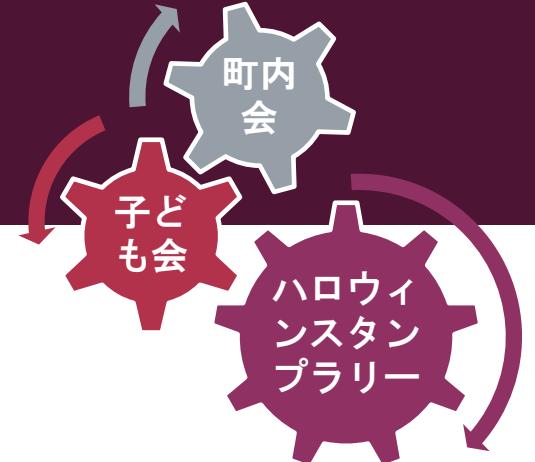


子ども会でもイベントができる！
(と、保護者の方に実感してもらえた)

町内会と協働するまで

協働：お互いを尊重し合い対等な立場で共通する課題の解決に向けて協力・協調する関係

歯車のかみ合うタイミングで協働の提案



町内会

- コロナで地域の行事（活動）が全て中止
- 町内会が主催していた夏祭り・秋祭りも中止

子ども会

- コロナで子ども会活動は縮小
- 夏祭り・秋祭りの子ども達が近くで楽しめる行事が中止

何とかしたい！

- 今まで通りの活動はできないが、新しい企画はどうする？
- スタンプラリーなら、感染対策を取りながら秋祭りの代わりにできないか？

地域の子どもと
保護者向けの
企画を提案

子ども達みんなが
楽しめそう！！

たまたま、提案しやすい環境を作っていた

町内会長（町内会）

- 町内会長さんが毎日登下校の見守り
- 町内の見守り（うのっこパトロール隊）の人数が少ない
- 子ども会の会長が毎日一緒に登校
 - →うのっこパトロール隊に勧誘



私（子ども会）

- 4年前に子ども会の育成会長
- 次男が同級生と登校中にケンカになりやすかつたので毎日一緒に登校（4年前：当時1年生）
- 日頃お世話になっているので受ける
- 次男の登校問題は解消されているが、現在もパトロール隊で毎日見守り



毎日のように顔を合わせて5分10分程度の立ち話ができる環境

↓
タイムリーに相談しやすい環境

提案（協働）にあたって改めて気をつけた点

- 1. 協働することでお互いにメリットがある事
 - 町内の子ども達みんなが参加することで子ども会の宣伝になる（子）
 - 今まで通りの地域活動はできなくても一時的に代替できる（町）
- 2. **（仮に）協働しなくてもお互いにデメリットが無い事**
 - 規模の大小は別として、協働しなくても実施できる体制（子）
 - 今回協働できなくても別の機会には新たな提案がくる（町）

子ども会では実施が難しいために
協働



ではなく

子ども会でも実施できるけど、
企画をより良くするために協働

町内会との協働による良い効果と課題

良い効果

- 町内の全員が参加しやすい
 - 子ども会が主催 → 入って無いとダメ？
(誰でもOKにしても気になる人は多い)
 - 世代間の交流
- 子ども会単独よりも余裕を持てる
 - コロナ対策もあり最低限の人員・予算計画では実施自体が難しくなる場合も…



課題

- 考え方の違いが出てくる
 - 例) 宣伝を兼ねて子ども会の子ども達は風船プレゼント
→ 他の子も欲しがるからみんな平等に（町）
→ 子ども会のメリットを出したい（子）
- 秋祭りが再開したらどうする？
 - 日程は1週間違い
両方？元の秋祭りだけ？
→ 子ども達はどっちも喜ぶけど…



まとめ

- 個人的な意向もあるが子ども会が地域の子どもと保護者の受け皿になればと思い、子ども会の活性化のために活動を広げた。
- 新型コロナウイルス感染症で地域の活動がほとんどできなくなっていたが、町内会と協働して代替イベントを実施した。
- もちろん課題は残るが、現状も少しずつ協働団体を広げながら子ども会の活動を続けている。
- 活動にあたって、**主催者・協働者（参画者）・参加者**それぞれが有益な部分を意識したい。

(おまけ) 参加・参画しやすい地域活動

子ども会だけが頑張っても難しい...

1. 大規模・単回から小規模・複数回へ

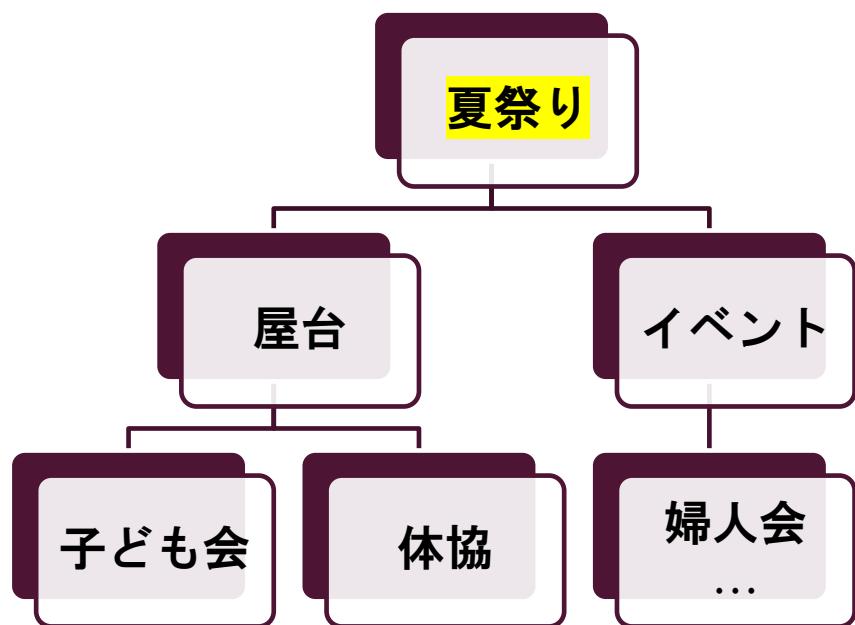
- 理由 1. 少なくとも新型コロナウイルス感染症への配慮が必要なうちは感染症対策も兼ねて
- 理由 2. 多様な生活様式への配慮（共働き・サービス業従事者など）

- 利点 参加・参画者が増える（かも）
→決められた日時のみ vs ○月○日～○月△日の期間内で実施

- 課題 企画・管理コストの増加（労力・費用ともに）

2. 縦の協働と横の協働

縦の協働



利点：大規模化が可能
課題：どこかで穴が開くと事業が困難

横の協働



利点：柔軟な事業実施が可能
課題：協働団体が増えると調整が大変

例) 縦の協働と横の協働を意識した組み合わせ

基本の夏祭り



世代間の繋がりづくり



地域の伝統



例) 縦の協働と横の協働を意識した組み合わせ

基本の夏祭り



世代間の繋がりづくり



地域の伝統



例) 縦の協働と横の協働 + 小規模複数 (夏祭りWEEK)

基本の夏祭り



Day 3
小さい基本の夏祭り
+浴衣着付け+盆踊り



世代間の繋がりづくり

Day 1
基本の夏祭り+和太鼓体験



地域の伝統



Day 2
水鉄砲づくり+水鉄砲大会



